

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373700315
事業所名	グループホーム尾西蓮池の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 着任にあたり新管理者は、畑をはさんだご近所さんをはじめ運営推進会議メンバーなど地域への顔つなぎをおこなっており、日常の挨拶から気軽に立ち話もでき、畑で採れた農作物の差し入れもあります。西瓜はスイカ割りで楽しみ、大根は甘辛く炊いて惣菜の一品とし、葱は朝食のお味噌汁と大活躍で、利用者の生活の彩りとなっています。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） コロナ禍の運営推進会議をどのようにするかについては、法人の指示を仰いで書面開催に至っています。管理者が2ヶ月分の活動内容をまとめた議事録を尾西市窓口にて持参のうえ、地域包括支援センターや区長、民生委員、家族代表には郵送で届けています。もともと10名前後で盛況であった集まりですし、書面開催であっても意見収受の仕組みの工夫は必要なため、今後はFAX返信等の取組みがあることを期待します。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 集団指導は中止ですが、本年度の法改正については法人本部から情報を得ています。市役所からはコロナ対策を中心にメール配信があり、都度管理者が確認しており、運営推進会議の議事録を通じて空き情報なども届けています。ワクチン接種については、尾西市の外から勤務する職員も利用者と尾西市在住の職員とともに対象者として取り扱ってもらえ、配慮ある対応を受けています。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 管理者が「はじめまして」のお便りを家族に送り、また補充品の用向きで訪れた家族とは直接挨拶を交わし、運営推進会議メンバーやご近所さんとともに家族にも新管理者であることを伝えることができています。管理者が介護支援専門員の有資格者であることから「安心だ」との言葉もあがり、その言葉を裏付けるかのように近隣の特別養護老人ホームや介護老人保健施設の相談員を管理者が訪ね、関係づくりを始めています。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	（例示） ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	（例示） ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	（例示） ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎									

【備考欄】

--